

Aichi University

Lingua



INSTITUTE FOR LANGUAGE EDUCATION, AICHI UNIVERSITY
No.19 July 2022



ブロンテゆかりの地ハワースを訪れた際に乗った蒸気機関車。ディーゼルと交互に走っている。(イギリス)

CONTENTS

<特集> 乗り物と旅行 ― 各国交通事情 ―

・イギリス	イギリスの車窓から～ノッティンガムでの留学体験	経営学部 石井麻璃絵	2～3
・ドイツ	フライブルクの路面電車と環境政策	文学部 鈴木 康志	4～5
・タイ	タイにおける旅行と交通：日本の常識は通じないぜ	国際コミュニケーション学部 加納 寛	6～7
・シンガポール・マレーシア	現地集合・現地解散 ― シンガポールからマレーシアへの旅 ―	法科大学院 松井 直之	8～9
・中国	中国出張とその移動手段 ― 南京・淮安・揚州 ―	文学部 臼田真佐子	10～11
・中国	2019年10月 上海と蘇州の旅	文学部 三野 豊浩	12～13
・アメリカ	テキサス州：車の旅とドライブインシアター	法学部 生駒 万貴	14～15

<エッセイ>

・フランスのヨーロッパ文化遺産の日	(2021年度退職元愛大教員) ニコラ ダソンヴィル	16～20
-------------------	----------------------------	-------

<豊橋キャンパス> ランゲージセンター紹介

提携校オンラインプログラム紹介

2021年度 第27回 名古屋校舎 外国語コンテスト結果報告	21
2022年度 外国語検定試験奨励金のご案内・編集後記	22
	23
	24

乗り物と旅行 — 各国交通事情 —

イギリスの車窓から～ ノッティンガムでの留学体験

経営学部 石井 麻璃絵



イギリスの列車の歴史は古い。いうまでもなくイギリスは鉄道発祥の地であり、大都市から小さな田舎町まで全土に幅広い路線網が広がっている。2015年から約1年間、私はロンドンから北へ列車で約2時間の場所に位置するノッティンガムに留学していた。田舎と都市の中間といった落ち着いた雰囲気のある街だったがアジア人はほとんどおらず、休暇を利用して同じようにイギリスに留学している友達に会いに行くのは貴重な気晴らしとなった。北はダラム、南はブラックプール、ロンドンには何度も通い、バーミンガム、リーズ、マンチェスター、レスター、ヨーク、グリニッジ、ハワース……、数日から一週間ほどの旅行を月に1・2度のペースで楽し

んでいた。日本でほとんど一人旅をしたことがなかった自分がこれだけ旅行に積極的になったのは、イギリスの列車の旅が想像以上に便利で面白いものだったからだろう。

イギリスの列車の遅延は有名だが実際その通りだった。3度に1度は何かしらの遅延やハプニングがあり、遅延の理由もメンテナンスや故障のほかに「運転手が風邪をひいた」、「運転手が早く帰った」など日本では理由にならないものも多々あった。しかし乗客も慣れっこので、突然目的地に着かなくなった事態に慌てることもなく別の列車に移動していく。個人的に一番驚いた体験は、もっとも遠出となったダラムへの移動の際だった。切符はすでに前日に購入しており、あとは列車に乗るだけと駅に向かったところ乗るはずの電車が時刻表から消えていた。駅員のおじさんはその電車がなくなったが振替があるから大丈夫だと、親切にも私の荷物を持って移動してくれた。しかし、向かったのは駅の外で、停まっていたバスの荷台に私の荷物は入れられた。おじさんが得意げに笑うなか、私は自分の英語が通じなかったのかとかなり慌てた。結局バスはダラム行きの電車が出る隣の駅まで移動し、目的地には1時間遅れで着くことができた。予約していた電車が突然なくなること、バスの代行に乗るのも初めてだった私はずいぶん驚いてしまったが、この経験を機に列車のハプニングには驚かなくなり、他の乗客たちと「やれやれだね」といった感じで苦笑しながら別の列車に乗り換えるのが一種の楽しみとすらなった。

駅では楽器を演奏している人を多く見かけ



近代的なイギリスの電車内



パディントン駅でピアノを弾く人

た。生活のためにお金を集める人たちもいたが、音楽好きの若者が自分の力を試していることも珍しくなかった。大きな駅にはピアノが常設され音楽が絶えなかった。人々は周囲の様子に敏感で、重そうな荷物を持つ人には老若男女とわず自然に手を差し伸べた。車内の様子も日本とは大きく異なった。うるさく喋る人がほとんどいない一方で、他人同士の間急に交流が生まれる光景に何度も驚かされた。人々は互いに目が合うと笑いかけ、隣の席に座った乗客たちはしばしば挨拶を交わし、その後もずっと喋り続ける人たちもいた。驚いたのは、特急列車に乗ったとき、2対2の対面の席に偶然いあわせた4人のうちの一人がバックからワインボトルとプラスチックのグラスを4つ取り出し、他3人もその好意を快く受けそのまま目的地まで談笑していた時だ。車掌と乗客の距離も近く、地元のサッカーチームが勝った夜は勝利を祝う車掌の声がスピーカーから流れ、乗客も歓声でそれに応えた。

短い期間だったがイギリスでは列車が単なる移動手段ではなく、社交の場であると感じる滞在となった。日本の遅れはないが他者との交流のない電車に乗っていると、遅延というちょっとした苦労を分かち合った者同士が苦笑し合っていたイギリスの列車が懐かしく思える時がある。



フライブルクの 路面電車と環境政策

文学部 鈴木 康志

豊橋には路面電車があり、いいなあと思いますが、街中での車との交通に不便もあってか日本では少数派です。一方ヨーロッパでは多くの街にカラフルで素敵な路面電車が走っています。今回は合わせて3年ほど生活していました、環境都市として世界的に有名なドイツのフライブルクの路面電車（トラム）を紹介したいと思います。

フライブルクで、環境を守るため、マイカーではなく路面電車の利用を呼びかける「環境定期券」が導入されたのは1984年でした。初めは市内だけでしたが、1991年「地域定期券（レギオカルテ）」システムが導入され、この1枚のレギオカルテ月66ユーロ（約9000円）、予約や年間購入の場合月56ユーロ（約7500円）で、フライブルク市とその周辺2200平方キロメートルのほぼすべての公共交通機関に共通に使用できます。つまりフライブルク市内の路面電車やバスに自由に乗れるだけでなく、ドイツ鉄道（DB）や郊外行きバスなど多くの公営・民営の交通手段も利用できます。貸し借り自由のうえ、1枚の定期券で日曜と祭日は、大人2人、子供4人、犬一匹（つまり1家族）が利用できます。しかもこれらの交通機関、特に路面電車は日中7分に1本程度あり、遅れることはあまりありません。フライブルクの中心市街地へは市電とバスとタクシーのみで、マイカーは入れませんし、道路もバス専用路には一般車は入れません。マイカー利用者は郊外まで車で来て、そこに駐車し（郊外には無料か非常に安い駐車場があります）、そこからは公共



レギオカルテ

の交通機関に乗り換えます。これがパーク・アンド・ライド制度で、マイカーなどで市街が混雑することなく、公共交通機関が遅れることがない理由の一つです。また、乗客の多くが環境定期券利用のため改札もなく、一つの電車に出入口が複数あり、乗り降りもスムーズです。そのため、只乗りも可能ですが、ときどき抜き打ちにあるコントロールの際に有効な定期券やチケットを持っていないと高額（60ユーロ）の罰金になります。

街の規模が異なり、一概に比較はできないかもしれませんが、その便利さを名古屋に住む私の感覚で例えると、9000円のレギオカルテで一か月、名古屋のすべての地下鉄やバスが無料、JRや遠距離バスも名古屋からであれば岐阜や岡崎くらいまで無料の感じです。今はマナカで少し便利にはなりましたが、名古屋で休日に家族4人で出かけるとバス代、地下鉄代をそれぞれ払うことになり、お金がかかるうえに、面倒なため、どうしても車を使ってしまいます。ところがフライブルクでは休日に家族で出かけても、私一人がレギオカルテを持っているだけで、家族はお金も乗車券購入などの手間も一切ありませんので、フライブルク滞在中はすべて公の交通機関を使いました。安くて、便利で、ほぼ時間通りであれば、人はマイカーよりも公共交通手段を使うようになります。特に環境に貢献していることがドイツ人たちの心をとらえています。同じ規模の日本の都市の自動車利用



フライブルクの路面電車

率が60%であるのに対して、フライブルクは30%とのことで、CO₂の大きな削減にもなっているようです。ただしこの安さのため、赤字で税金などから補填されることになります。

5年前にフライブルク大学で研究をしているとき、路面電車の多くはLRT（ライト・レール・トランジット）と呼ばれる次世代型の路面電車でした。特徴は、カラフルでデザイン性を備えたモダンな電車で、低床式車両のため（写真参照）、乗り場と車両に段差もなく、高齢者や車いすの人、ベビーカーのお母さんもスムーズに乗り込むことができ、車内には車いすやベビーカーのスペースが作られています。それでも段差のある古いタイプの電車が来ることもありましたが、乗り降りでは車椅子の方やベビーカーのお母さんを助けるのは当たり前になっていて、それも見ていていいなあと思いました。電車は、電気モーターで動き、二酸化炭素を出さず、振動も少なく快適です。私はヴォーバンという特に環境にやさしい地区に住んでいましたが、市電は市の中心を出るとヴォーバンまで電車の路面は環境のため緑でおおわれていました。フライブルク市は、都市対策、廃棄物処理対策、エネルギー利用対策、森林対策さらに環境教育など様々な環境政策が行われていますが、路面電車もその一端を担っています。

すでに地下鉄がある大きな都市ではむずかしいと思いますが、学生のみなさんにとって環境問題と高齢化は今後大きな問題ですので、環境にも、そして高齢者にもやさしいLRTの導入は、日本の中規模の都市ではますますその導入が議論されるようになるのではないのでしょうか。



タイにおける旅行と交通： 日本の常識は通じないぜ

国際コミュニケーション学部
加納 寛

旅行前にガイドブックを寝っ転がりながら拾い読みしつつ現地の様子を想像するのって、至福ですね！ で、気分が最大限に盛り上がったところで現地に到着して想像していた内容を体感すると、これまた至福！ 帰国してからもう一度、行ったところの記述を読み直して記憶を反芻するのも、至福！ ガイドブックは、1冊で3度美味しい！ さらに、ガイドブックを日本語とか外国語で各種揃えて読み比べてみるのも至福ですね！

ということで、まずはガイドブックから、日本とタイの旅行の違いを感じてみましょう。日本人向けのガイドブックと、タイで売られているタイ人向けのガイドブックとの大きな違いは、(当然かもしれないけど) 外国人である日本人向けのものでは公共交通機関での移動が前提になっているのに対して、タイ人向けのものでは自家用車での移動が前提になっているという点です。



タイの鉄道は、日本の鉄分の濃い人たちからも熱い視線を送られています。下川氏の鉄道全線制覇の旅行記、日本とタイ（やミャンマー）の鉄道サービスの根本的な違いが抱腹絶倒です。

たとえば、愛知大学の協定校ナレースワン大学の近くにある世界遺産「スコタイ遺跡」に行きたい場合、日本語ガイドブックでは、空路、バス（近隣都市まで鉄道で行く経路を含む）でスコタイ市街まで行き、そこから14km離れた遺跡まで乗合ソンテオ（トラックの荷台に客を乗せる公共交通機関）によって移動する方法が示されています。一方、タイのガイドブックの場合、「まずは国道1号線を使い、国道32号線に入って約50km、ナコンサワンに向かう。そこから国道117号線を使ってピサヌロークに入り、12号線を経由してスコタイ県に入り、遺跡まで行く」って感じで、自家用車を使用した場合の経路が、バンコクを起点として書かれていることがほとんどです。バスについては「バンコク～スコタイ線。北バスターミナルにて乗車」と書かれているだけなので、スコタイ市街でバスを降ろされた瞬間に途方に暮れちゃうし、鉄道だと「北線、バンコク～ピサヌローク。それからスコタイ県まで車を乗り継ぐ」としか書いてないので、どーやって車を乗り継げっつーの（激おこ）！ 逆に、日本語ガイドブックだと、国道番号とかが書かれていないので、自家用車で移動しようとするとう不便です。



タイの鉄道や交通について学術的に知りたい人は、横浜市立大学の柿崎一郎氏の著作がオススメ！ 以前、柿崎氏に愛大で講演をお願いしようとしたのですが、愛大には鉄研がないことを知って断念（残念）！

なお、日本の場合、長距離移動では鉄道が優先度の高い選択肢に入ってくると思いますが、タイの場合は（自家用車移動じゃなければ）鉄道よりも長距離バスを考えちゃうかも。タイには、総路線距離4000km以上を誇るタイ国鉄があります。首都バンコクから放射状に路線が延びており、国土の大動脈に当たるような部分には鉄道が走っている感じです。しかしー！逆に言うと、大動脈の部分しか鉄道がないとも言えます。毛細血管はもちろん、かなり重要な血管に当たるような部分にも、鉄道は走っていません。したがって、鉄道「のみ」で行けるところは限定されています。ということで、血管網のように国土を縦横無尽に繋いでいる長距離バスの方が鉄道よりも便利なんですよ。バスの方が鉄道より、スピードも（数少ない特急とかを除けば）速いことが多いし、便も多いし、遅れも起こりにくいし。ただ、料金については、3等車だったら、断然、鉄道の方がお得です。とくに急ぎの用事もあるわけでもなく、硬い座席で何時間も耐えられる鉄のお尻をお持ちの方は、こちらもおススメです♡（私は、バスか飛行機でお先っす！）

最後に、日本人がタイ人と旅行する際の注意点を、日本とタイの旅行慣習の違いの観点からまとめておきます。まず、公共交通機関を多用し、さらに1日20km以上を普通に歩いたり走ったりする日本人の旅行方法は、タイ人には通用しません。大半の日本人は「3歩以上は駆け足！チンタラしてんじゃねー！こら！」という教育を受けてきていると思いますが、タイ人は「3歩以上は自家用車かタクシー！」という人が多いです。また、日本人は、分刻みの行動計画を立案し忠実に履行しがちですが、タイ人の旅行はもっと鷹揚です。そもそも鉄道とか時間通りに来ねえし、自家用車やバスも渋滞がひどかったりして到着時間は当日の運（？）次第だったりするし。タイ人の旅行の場合、車で移動中、あ、あの屋台のジュース美味しそう！とかなる



タイの田舎の鉄道駅はこんな感じ。行きたい……

と、そこで行き当たりばったりの小休止に入って3時間…さ、そろそろ出発しようか、あ、○○ちゃんがどっかに行って戻ってない、もうちょい待つか～（さらに30分経過）みたいなことも多いです。ま、目的地には、そのうちに着くだろうし。なので、タイ人と一緒に旅行する際は、あまりカリカリしないこと。休憩時間とかバッファ時間を（非常に）多めに取っておくのが吉です。あと、歩いて移動という感覚はあまりないので（走って移動という感覚はもったない）、数キロ歩いちゃうような計画は不可だと思いたしましょう。

以上、30年ほど前の新婚旅行で新婦のタイ人親族御一行様を京都・奈良（修学旅行かよ！）に引率して大失敗をぶっこいた、新郎（私）の経験談からの、身を削った教訓でした。



現地集合・現地解散 —シンガポールから マレーシアへの鉄道の旅—

法科大学院 松井 直之

私は、外国に行って、現地のバス、地下鉄、電車、列車などに乗るのが好きです。行先を決めて、そこへ行くための交通手段を選び、バス停や駅を探し、切符を買って、目的地のバス停や駅で降り、目的地へと向かう。日本国内だったら、日本語が通じるから、たとえ道に迷っても、どうにかかります。しかし、外国では、そうはいきません。

大学院生のとき、私は、中華系マレーシア人（華人）の同級生の実家・ジョージタウン（マレーシアのパナン島）に遊びに行く旅をしました。大学1年生のときから、第一外国語として、中国語（北京語）を勉強してきたし、中国、台湾、香港、マカオ、韓国など、何度も旅してきたという自信もありました。しかし、その旅は、ひとりで現地に集合し、現地で解散するというものでした。

初めてのシンガポール。新東京国際空港（当時）から、日本航空（JAL）に乗って、シンガポール・チャンギ国際空港に到着しました。ひとり、しかも深夜でした。「ホテルまで、どうやって行こう……」。シンガポールは、多民族国家なので、英語、中国語をミックスして話しても通じます。つたない英語、つたない中国語を駆使して、タクシーでホテルに行きました。シンガポールでは、マーライオンを見て、オーチャード・ロードをぶらぶらし、第二次世界大戦中のシンガポールの歴史を展示するチャンギ博物館（チャンギ刑務所に隣接）などにも行きました。

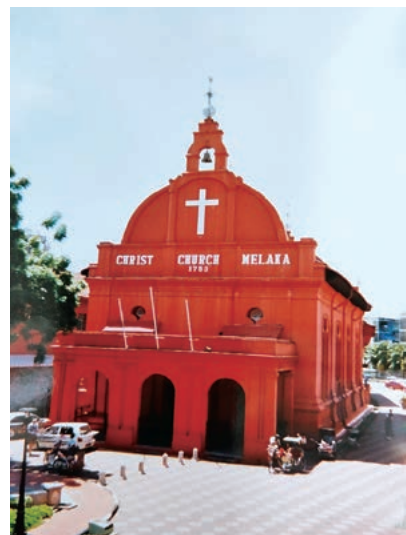
翌日、ジョージタウンに向けて出発です。と



シンガポール（タンジョン・パガー）駅：筆者撮影

ころが、シンガポールからパナン島の対岸の町バタールワースまで直通するマレー鉄道の列車はありません。まずは、シンガポール駅（当時）からクアラルンプール（KL）駅（当時）に行き、その後、列車を乗り換えて、KL駅からバタールワース駅に行くことになります。

列車は、夕方、シンガポール駅を出発し、翌日の朝、KL駅に到着しました。お腹が空いたので、KL駅構内のハンバーガー・ショップに行きました。マレーシアは、多民族国家ですが、マレー系マレーシア人には、あまり中国語が通じません。私は、マレー系の店員に、英語でチーズ



キリスト教会（マラッカ）：筆者撮影

バーガーを注文しました。ところが、なかなかチーズバーガーが出てきません。通りかかった中華系の方に、中国語で「チーズバーガーを注文したけど、なかなか出てきません」と話すと、店員にその旨を伝えてくれて、ようやくチーズバーガーにありつくことができました。

KL駅からバターワース駅に行く列車は、夕方に出発します。それまでの時間は「マラッカに行って観光するといいい」と、同級生から事前にアドバイスをもらっていました。お腹を満たした私は、KL駅からプドゥラヤ・バスターミナルまで歩き、マラッカ行きのバスに乗ることにしました。「華人がいない。何かあったら、英語しか通じない……」。緊張する私を乗せてバスは、何事もなく、マラッカに到着しました。マラッカは、赤い建物が目を引きまします。フランシスコ・ザビエルの功績を称えるセント・フランシス・ザビエル教会にも行きました。

バターワース駅行きの列車に乗るために、KLに戻ろう。疲れて寝てしまった私を乗せてバスは、プドゥラヤ・バスターミナルに到着しました。列車は、夕方、KL駅を出発して、翌日の朝、バターワース駅に到着しました。ペナン島行きのフェリー乗り場に行くと、同級生が待っていてくれて、私は、心からほっとしました。ジョージタウンでは、昼間は、街中を歩いたり、ラササヤン・ホテルのプールで泳いだり、夕方

は、ホッケン・ミー（福建麺）などのマレーシア料理を食べたりして過ごしました。

ジョージタウンで解散です。ペナン国際空港から、マレーシア航空に乗って、クアラルンプール国際空港（KLIA）まで行きます。新東京国際空港行きのJALは深夜に出発するので、KLIAからタクシーに乗ってKL市内に行き、時間を潰しました。KL市内では道に迷い、漢字の看板の事務所に入って事情を説明すると、中華系の方がバス停までついてきて、運転手に行先を伝えてくれたので、無事にペトロナス・ツインタワー（日本の建設会社安藤ハザマも施工した）を見に行くことができました。

「なんで日本人が中国語を話せるの？」KLIAに戻り、深夜に出発するJALの搭乗まで、ひとりで、KLIAのレストランで食事していると、ホールスタッフが声をかけてくれました。ほんの少し勇気を出して、中学生のときから学んでいる英語、大学で学んでいる外国語を使ってみると、いつもとは違う世界が広がります。

時は流れ、この旅を彩ってくれたマレー鉄道のシンガポール（タンジョン・パガー）駅からウッドランズ駅（シンガポール国境付近）までの区間は、2011年6月に廃止され、今は緑道になっています。そして、シャトル・テブラウ（Shuttle Tebrau）が、世界最短の国際列車として、ウッドランズ駅からマレーシアのジョホールバル・セントラル駅までの2.1kmを走っています。



セント・フランシス・ザビエル教会（マラッカ）：
筆者撮影



中国出張とその移動手段 —南京・淮安・揚州—

文学部 臼田 真佐子

2019年暮れから2020年の年始にかけて中国江蘇省の南京・淮安で資料収集を行い、揚州で知り合いの先生にお目にかかって、南京から中部国際空港への直行便で帰国した。その後は感染症の蔓延で、訪中などできない状態である。

南京では図書館の近くのホテルに宿泊し、徒歩で図書館通いをした。こんなところに書店がある、スターバックスがある、ATMがあると発見し、実際にそこに立ち寄りたりもした。その他の移動には地下鉄を利用したが、短期滞在者はチャージ式の地下鉄カードが購入できず、毎回コイン型のプラスチック製チケットを購入していた。新街口は南京の繁華街で、地下鉄に乗るまでの通路にもお店が立ち並び、見ているだけでも楽しい。今回はバスには乗らなかったが、タクシーから外を眺めていると、バスの車体一杯にキューピー（中国語は“丘比”）・マヨネーズの宣伝が描かれていた。中国人は基本的に生野菜を食べないが、サラダにはマヨネーズやドレッシングが必要である。私は中国のスターバックスでサラダをよく注文するので、ドレッシングの必要性は身に染みて感じている。

南京に来る前、淮安に数日滞在した。中部国際空港から上海・浦東空港経由で淮安に飛行機で到着したが、淮安の空港は、九州の大分空港に雰囲気が似ていた。淮安という地は、日本に出ている旅行ガイドブックに載っていないで、渡航前の情報が少なくて困った。江蘇省の道路地図は持っていて、これはたぶんマイカーを運転する人用だと思う。揚州の知り合いに聞いても、今は紙媒体の地図ではなくて、スマホで検索するのだと言う。事前にインターネットで調



淮安市内のトラム

べると、淮安には路面電車が走っていて、ホテルから図書館まで乗り換えなしのようでも、ウェブで調べても駅の一覧が出て来なかった。淮安に到着した後、ホテルから図書館まで行きはタクシーに乗り、帰りは図書館と目と鼻の先の駅まで図書館の方が見送ってくださって、ありがたかった。地下通路を通ってホームに到達するので、一人では右往左往するところだった。実際に乗ってみると、路面電車というよりトラムという呼び方がふさわしく、現代的な車体で、土地があるなら地下鉄より建設しやすくして良いと実感した。このトラムに乗ると周恩来記念館、呉承恩記念館等の名所旧跡に行くのも便利である。周恩来記念館には周氏が故郷の淮安に戻る暇もなく、1960年1月上海から北京に戻る時、飛行機の中から淮安を眺めたという写真が展示してあった。今では淮安に空港がある。淮安の某記念館で地図を売っていて、やっと淮安の地図を見つけたと思ったが、観光用でありながらトラムの駅まで載っていなかった。



揚州駅（南京から到着した列車）

淮安の図書館で係の人に尋ねて、淮安の地図をコピーさせてもらったが、これは初めて来た者には詳しすぎた。

淮安から南京までは長距離バスで移動したが、途中サービスエリアで休憩があり、安全運転だった。バスが南京に到着した後タクシーに乗り換えると南京長江大橋を渡った。タクシーの車窓から見えたバスが、先ほど取り上げたキューピー・マヨネーズの広告バスだったのである。

南京から揚州までは鉄道が開通していた。30年ほど前揚州に来た時は鎮江からフェリーで長江を渡り、揚州に到着した。揚州から高郵に用事で行き、そこから南京まではバスで3-4時間かかったのである。今では南京から列車に乗って1時間くらいで揚州に着くのであるから、日帰りもできて大変便利である。チケットは日本にいる時インターネットで購入したが、乗車時はパスポート提示で面倒である。揚州の駅は中心地から少し離れていて、知り合いの先生がマイカーを持っている同僚の先生に頼んで、お二人で迎え来てくださった。マイカーで知り合いの先生に迎えに来てもらうことは、ここ数年他の土地でも何回かあった。中国の先生方のご好意を大変うれしく思う。

中国国内の高速鉄道、地下鉄やトラム等の市内交通、人民のマイカー所有等、交通手段は発展を遂げている。1979年夏に初訪中した時は訪中団でしか旅行できず、飛行機と団体用のバスで移動していたが、その頃と比べてみても交通手段の発展は目覚ましい。キャッシュレスが中国国内で進んでおり、タクシーを呼ぶにもスマホのアプリがあり、今度訪中が叶った時には、うまく適応できるのかどうか不安な気持ちも多少ある。ともあれ、感染症の状況が収束して、海外渡航が普通にできることを祈ってやまない。

2019年10月 上海と蘇州の旅

文学部 三野 豊浩



去る2019年10月、中国上海の復旦大学で開催された宋代文学の国際シンポジウムに参加し、終了後、近くの蘇州を訪れました。もちろんコロナで世界中が大騒ぎになる前のことです。少なくとも現時点で、これが私にとって最後の海外旅行となっています。今回はその時のことをお話ししたいと思います。

中部国際空港（セントレア）から飛行機に乗り、上海の浦東国際空港に到着。ここからバスで会場の復旦大学へ。久しぶりの浦東で、バス乗り場をさがすのに一苦労しました。どうにかバスを見つけて乗車。やや殺風景な上海の風景を眺めながら邯鄲路に到着。復旦大学のキャンパス近くのホテルにチェックイン。この時、蘇州往復の高速鉄道のチケットを購入しました。片道50元。

翌日から開催されたシンポジウムの詳細は省略します。この時私は、自分が研究している南宋の范成大（はんせいだい）という詩人の本を出版したことについて報告しました。范成大は中国各地の地方長官を歴任した後、故郷の蘇州に隠居し、郊外の石湖（せきこ）に別荘を構え、悠々自適の晩年を過ごした人です。そこで久しぶりに蘇州を訪れ、石湖を見てみたいと思ったわけです。

閉会式の後ホテルをチェックアウトし、タクシーで福州路へ。あらかじめ予約してあった別のホテルにチェックイン。部屋に落ち着いた後、ぶらぶらとホテルの周辺を散策。豫園はいにく整備中で見学できませんでしたが、土産物屋が建ち並ぶ商店街は活気があり、大勢の人でにぎわっていました。それから足任せに外灘

へ。すでに暗くなっていましたが、夜空にそびえる上海のシンボル、東方明珠電視塔はライトアップされて美しく輝いていました。2005年12月、かのユーミンこと松任谷由実さんが紅白歌合戦の時にライブで歌ったそのあたりです（と書いても若い皆さんはご存じないかも知れませんね。すみません）。

翌日は朝早く起きてタクシーで上海駅へ。蘇州行きの高速鉄道に乗車。日本の新幹線のような感じで、わずか30分で蘇州駅に到着しました。これまで豊橋から浜松か三河安城に行くような感じでしょうか。以前、2000年に上海で同じようなシンポジウムが開催された際にも蘇州まで鉄道で行きましたが、その時はまだ日本のローカル線の特急か急行のような感じで、30分というわけには行きませんでした。

蘇州駅で地下鉄に乗り換え、いざ石湖を目指します。私がはじめて蘇州を訪れたのは留学中の1993年のこと。その頃はまだ蘇州に地下鉄などなく、上海ですら1号線が開通したばかりでした。それが2019年の時点ではすでに3路線が開通し、4本目が工事中という状況でしたから、隔世の感があります（現在、上海の地下鉄は18路線、蘇州は5路線）。運賃は4元。途中で一度乗り換えて、石湖のほとりの石湖莫舍駅に到着。そして湖畔をひたすら歩く、歩く、歩く……。この日ほど歩いたのは本当に久しぶりです。幸いお天気はよく、湖もよく整備されていて、美しい風景を心ゆくまで楽しむことができました。

湖畔の公園内にある范成大の祠（たぶんこの辺りに別荘があったのでしょうか）に参拝し、別れを告げてから、今度は歩いて市街地を目指します。しかしここで体力の限界が。やむなくタクシーを拾い、最寄りの地下鉄の駅まで行ってほしいと頼んだところ、友聯という駅まで行ってくれました（今なら石湖北という駅がありますが、その頃はまだ工事中で利用できませんでした）。運賃はうろ覚えですが確か16元。そこからまた地下鉄を乗り継いで蘇州の中心に戻り、

察院場駅で下車。観前街をぶらぶらしてから蘇州駅に戻りました。帰りはまた高速鉄道で上海へ。ただ列車の到着が予定よりかなり遅れ、蘇州駅で一時間ほど待たされました。この時ほど日本の鉄道の正確さをありがたいと思ったことはありません。特に悪天候でもなく、どういう事情があったのか、何の説明もありませんでした。上海駅に着き、地下鉄でホテルに戻った時は、もう夜遅い時間になっていました。

翌朝ホテルをチェックアウトし、福州路から歩いて南京東路へ。ここから地下鉄で浦東国際空港へ。そのまま乗って行っても空港に着けませんが、時間の節約のため途中の龍陽路でリニアモーターカー（中国語では磁浮列車、ツーフーリエチャー）に乗り換えました。運賃は片道50元。リニアは日本ではまだ構想の段階ですが、中国ではすでに実用化されています。走行距離はそれほど長くないものの、地下鉄なら30分はかかるところを、わずか数分で移動できます。風景はともかく、乗り心地は快適。浦東から飛行機に乗り、無事セントレアに帰還しました。

以上、私のささやかな旅行報告でした。たくさん撮った写真のうち3枚しか紹介できないのが残念です。早くコロナが収束し、また自由に海外に行ける日が来ますように。



復旦大学近くのバス停



蘇州の地下鉄の車内



リニアモーターカーの駅（浦東空港側）



テキサス州：車の旅と ドライブインシアター

法学部 生駒 万貴

高校二年の夏、私は海外留学のために初めて日本を離れました。行き先はアメリカ南部にあるテキサス州。留学期間は一年でした。テキサス州について知っている人は少ないかもしれませんが、テキサスはとにかくとても広い州で、その面積は日本の約二倍です。広大な土地にはDallasやHoustonのような大きな商業都市もあれば、比較的小さな都市もあります。そのため、同じテキサスといっても、場所によって土地の雰囲気や人々の生活環境は大きく異なります。

私が留学した場所は、テキサス州の南端にあるWeslaco Cityという都市で、メキシコとの国境に非常に近いリオグランデバレーに位置していました。この辺りは平屋の建物が多く、一歩外に出ると見渡す限り広大な土地と抜けるような青空が広がります。高層ビルが立ち並ぶ都会のように視界を遮るものは殆どありません。この自然溢れる場所に住むことになった当時の私は、テキサス特有の広大な土地の雰囲気を体験

することをとても楽しみにしていました。

しかし、いざ留学生活が始まると、その広さ故に不便を感じるようになりました。車社会であるアメリカの多くの場所でそうであるように、私が留学した地域にも利用できる公共交通機関は殆どなく、主な移動手段が車のみだったからです。土地があまりに広大で徒歩で行ける場所が限られていたため、運転免許を持っていない未成年者が外出をする際は、常に大人に送迎を頼まなくてはいけませんでした。特に私の場合は、都市の中心部からかなり離れた地域にホームステイしていたことから、どこへ行くにも車が必要でした。そのため、自分の意思で自由に外出できないことを、最初の頃は大変不便に感じていました。

しかし幸運なことに、私が出会ったホストファミリーは、テキサス州キャメロン郡にあるSouth Padre Islandや、Dallas、Houston、San Antonioにある名所等、テキサス州の色々な場所に私や友人を車で頻繁に連れて行ってくれました。そのおかげで、不便さよりも車の楽しさを味わう機会が徐々に増えていったように思います。特に心に残っているのは遠出の際のドライブです。見渡す限り一本道しかないような高速道路をひたすら何時間も走って移動することが多かったのですが、途中で何度もファストフード店に立ち寄り、そこで購入した食べ物を車の中で頬張りながら、当時流行っていた歌を皆で熱唱したりゲームをしたりして目的地を目指すのが、私たちのドライブの定番の楽しみ方でした。これは車社会のアメリカではごく日常的な光景だと思いますが、日本で自転車やバスを主な移動手段として使っていた当時の私にとっては、この何気ない車の旅そのものがとても新鮮で魅力的な体験に感じられました。

またこの他にも、テキサスのドライブインシアターで一味違った車の魅力も知りましたが、日本ではあまり馴染みがないかもしれませんが、ドライブインシアターは野外で映画鑑賞できる



South Padre Island, Texas (入口)

出典：https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Entrance_to_South_Padre_Island.jpg

映画上映施設のことです。広大な駐車場に巨大なスクリーンが設置されており、観客は自分の車に乗ったまま映画を観ることができます。私が留学した地域にも、1950年代に開業して以来地元の人に愛され続けてきた WesMer Drive-In Theater というドライブインがありました。ここでは比較的新しい映画が毎晩二本立てで上映されており、しかも「車1台につき10ドル」という手頃な価格でチケットが販売されていたので、週末の夜になると車の定員がいっぱいになるまで友人や近所の人を誘い、大勢で WesMer Drive-In Theater に繰り出したものです。満天の星空の下、開けた窓から入ってくる澄んだ空気や風を感じながら、それぞれの車内で映画を観るという体験は、屋内映画館では味わえない不思議な特別感に満ちており、車ならではの魅力が詰まった娯楽だと感じました。何よりも、プライベートな空間である車内では、周囲への迷惑を気にする必要が殆どないため、上映中に家族と映画の感想を言い合ったり、自宅から持ち込んだお菓子や手作りブリトーを食べたりして、まるで自宅にいるかのように寛ぎながら、観客一人一人が思い思いに映画鑑賞を楽しめる点が魅力的でした。また同時に、同じ映画を観ている周囲の車の人たちと、車越しに映画の場面へのリアクションを共有したり、エンディングで一緒に拍手したり車のライトを点滅し合ったりする等、上映中にちょっとしたコミュニケーションが取れることも、ドライブインならではの楽しさでした。

車社会の中で不自由さを感じながら始まった



ドライブインシアターの外観
(WesMer Drive-In Theater にて)



車内からの映画鑑賞の様子
(WesMer Drive-In Theater にて)

留学生活でしたが、心優しいホストファミリーや友人のおかげで、車の旅やドライブインの魅力を味わう機会に恵まれ、テキサスの日常、文化を楽しく体験できたように思います。皆さんも今後アメリカに行く機会があれば是非車で色々な所を回って下さい。また、時代の変化に伴い年々減少し続けてきたドライブインは、他者との接触なしに映画鑑賞できるシアターとして、コロナ禍の現在再び注目されているようです。機会があれば是非体験してみてください。

Les journées européennes du patrimoine en France

Nicolas Dassonville

Partout en France, le troisième weekend de septembre, des lieux de toutes sortes sont ouverts au public : des sites connus ou méconnus, publics ou privés, des lieux de pouvoir, des châteaux, des édifices religieux, des jardins, des sites industriels et même quelques bâtiments contemporains. Cet événement, qui porte le nom de « Journées européennes du patrimoine » (JEP), est organisé chaque année par le ministère de la Culture. Pendant deux jours, les visiteurs peuvent profiter gratuitement ou à un tarif préférentiel, de visites guidées et d'animations. Au fil des années, les JEP sont devenues une véritable institution de la rentrée¹. Ce qui impressionne le plus, c'est la fréquentation (environ 12 millions de visiteurs), la diversité des lieux (environ 17000 lieux partout sur le territoire, dont beaucoup sont ouverts pour la première fois ou à titre exceptionnel), le nombre des animations (environ 26000 animations : ateliers pour les enfants, jeux, expositions, concerts, rencontres et échanges avec des professionnels, etc.), et cette atmosphère de fête populaire si particulière. En plus des professionnels, de nombreux bénévoles sont mobilisés, ainsi que des particuliers ouvrant leurs portes au public.

Ces journées « pour tous » ont été récemment complétées par des dispositifs concernant plus spécifiquement les scolaires, par exemple l'opération « Levez les yeux ! » lancée en 2019, se tenant chaque année à la veille des JEP, visant à faire prendre conscience aux enfants qu'ils ont, à portée de regard, sur leur territoire, une incroyable diversité patrimoniale.

Au programme, des parcours de découverte, des rencontres avec des artisans et des professionnels du patrimoine, et même des ateliers pratiques (fouilles archéologiques, restauration, dessin, etc.).

Les JEP sont à l'origine une idée française. Jack Lang, ministre de la Culture, instaure en 1984 une « Journée portes ouvertes dans les monuments historiques », qui rencontre un succès immédiat et massif. L'idée plaît en Europe, et rapidement, plusieurs autres pays décident d'organiser des journées similaires. En 1999, l'Union européenne s'associe à cette manifestation qui est rebaptisée en 2000 « Journées européennes du patrimoine ». Aujourd'hui les JEP sont organisées par les 50 pays membres de la Convention culturelle européenne !

En France, les lieux ouverts lors des JEP peuvent être regroupés en quatre grandes catégories :

- Des lieux historiques et culturels, pour la plupart déjà ouverts au public. Parmi les plus célèbres, il y a le château de Versailles. À l'occasion des JEP, les visiteurs ont parfois la chance de visiter des salles habituellement fermées au public, comme l'étonnante salle du Congrès, où se réunissent encore aujourd'hui l'Assemblée nationale et le Sénat lorsqu'il s'agit de voter une modification de la Constitution.
- Des lieux de pouvoir. L'une des spécificités des JEP, depuis son origine, c'est la volonté de rendre accessibles au public les lieux où s'exerce la vie

¹ L'année scolaire commence début septembre.

démocratique, pour rapprocher le pouvoir des citoyens. Ces lieux sont souvent magnifiques et chargés d'histoire. L'un des plus prisés est le palais de l'Élysée, siège de la présidence de la République. Après s'être inscrits, avoir passé les contrôles de sécurité et avoir fait la queue pendant parfois des heures, les visiteurs peuvent déambuler dans les salons, les jardins, le bureau du président... Avec un peu de chance, il est même possible de faire un selfie avec le président ! On peut aussi visiter l'Assemblée nationale, le Sénat, la Banque de France, des ministères, des tribunaux, des mairies, etc.

- Les lieux relevant du patrimoine local. Dans cette catégorie, il y a non seulement des bâtiments connus, mais aussi des bâtiments que l'on voit tous les jours sans y prêter attention : une ancienne gare, une école, une petite chapelle, un moulin, une jolie demeure privée, etc. Par exemple, les habitants d'Avignon ont pu redécouvrir récemment les Bains Pommer, un établissement de bains publics d'architecture Art déco, haut lieu de la société avignonnaise dès la fin du XIX^e siècle et resté figé dans le temps depuis sa fermeture dans les années 1970.

- Des lieux inclassables ou insolites. Il y en a de toutes sortes : des stades sportifs, des entreprises en activité, d'anciens sites industriels, etc. Quelques exemples : Les locaux du groupe national de télévision France Télévisions, à Paris. Les visiteurs peuvent découvrir les studios et les régies, et même discuter avec des animateurs venus à leur rencontre. L'ancienne chocolaterie Menier dans la petite ville de Noisiel, à côté de Paris, fleuron de l'architecture industrielle de la fin du XIX^e siècle, proposé par la France au classement du patrimoine mondial de l'UNESCO. L'usine Bugatti à Molsheim, en Alsace, où l'on a fabriqué la célèbre Bugatti Royale

de 1926 à 1933 et où l'on fabrique aujourd'hui des supercars. Le « plus ancien terrain de basketball du monde » construit en 1893 dans les locaux de la section française des YMCA à Paris et conservé depuis dans son état originel.

En France, l'engouement pour les JEP, confirmé année après année, est révélateur de l'attachement des Français à leur patrimoine. Mais, qu'entend-on exactement par « patrimoine » ? À l'origine, ce terme désigne l'ensemble des biens que l'on hérite de sa famille. À l'échelle d'une communauté, c'est l'ensemble des richesses d'ordre culturel appartenant à cette communauté, héritage du passé ou témoins du monde actuel. Ce qu'on appelle le patrimoine, c'est tout ce qui est jugé digne d'être préservé, célébré et confié aux générations suivantes. La notion de patrimoine, d'abord limitée à la conservation de monuments et de certains objets, a beaucoup évolué : elle s'est étendue aux biens culturels immatériels (traditions, savoir-faire, langues régionales, etc.) et fait désormais une large place à l'environnement et à la biodiversité. Cette notion peut s'appliquer à l'échelle d'une ville, d'un pays, ou même de l'ensemble de l'humanité, comme en témoigne le patrimoine mondial de l'humanité de l'UNESCO.

Au-delà des JEP, les indices de cette passion française pour le patrimoine sont très nombreux. Quelques exemples : Parmi les émissions de télévision les plus populaires, on compte de nombreuses émissions consacrées à l'histoire et au patrimoine, comme *Des racines et des ailes* ou *Le village préféré des Français*. 74% des Français visitent au moins un site patrimonial chaque année² et 34% ont déjà fait un don pour la conservation du patrimoine, pour un montant moyen de 260€³. Plusieurs milliers d'associations agissent

² Sondage OpinionWay, 2018

³ Sondage BVA « Les Français et le patrimoine culturel », 2019

quotidiennement pour la sauvegarde du patrimoine, par exemple des chantiers de bénévoles de restauration du patrimoine organisés par des associations. Ces dernières années, les campagnes de financement participatif destinées à sauver des monuments en péril se sont multipliées avec succès.

Si les Français et leurs dirigeants attachent tant d'importance à leur patrimoine, c'est sans doute parce qu'il offre des repères dans le contexte parfois

angoissant de la mondialisation. Le patrimoine n'est pas pour autant quelque chose de figé et de nostalgique. Au contraire, il témoigne des conflits et des réconciliations du passé, du métissage des identités, des innovations techniques et des transformations artistiques. Aujourd'hui, c'est un formidable outil pour réunir les gens au-delà de toutes les différences, qui permet de répondre en partie à la question de savoir comment la société française va savoir évoluer tout en restant elle-même.

フランスのヨーロッパ文化遺産の日

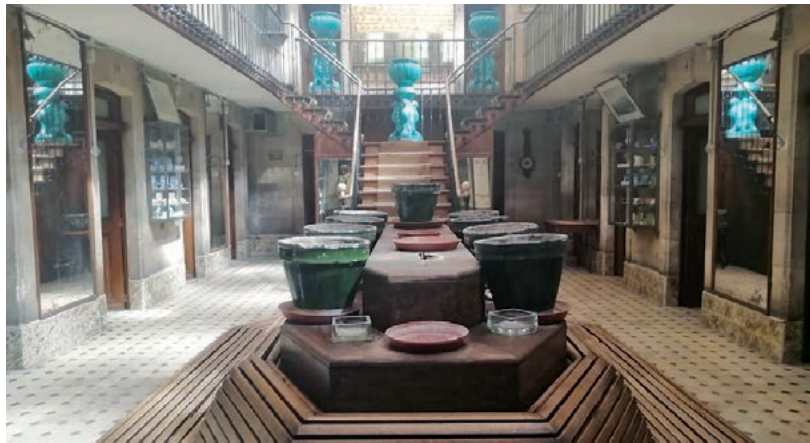
元 国際コミュニケーション学部助教 ニコラ・ダソンヴィル

フランスでならどこでも九月の第三週の週末は、ありとあらゆる場所が一般に開放されます。有名な場所やあまり知られていない場所、公共の場所や個人所有の場所、権力の場所、お城、宗教建築物、庭園、産業スポット、いくつかの現代建築さえも一般に公開されるのです。「ヨーロッパ文化遺産の日 Journées européennes du patrimoine」(JEP) と名付けられたこのイベントは文化省によって毎年開催されています。二日の間、見学者は無料もしくは特別料金でガイドツアーや催しものを楽しむことができます。年々、JEPはまるで新学期に行われる恒例行事のようになっていきます¹⁾。なによりも驚かされるのは、大勢の来場者数(約1200万人の見学者)、スポットの多様性(フランス各地17000ヶ所、そのうちの多くの場所で初公開もしくは特別公開が行われている)、イベントの数(約26000のイベント、例えば子ども向けアトリエ、ゲーム、展示、コンサート、専門家との集まりや交流など)、そしてひとびとに愛される

その非常に独特な祝祭的な雰囲気に含まれていることです。専門家だけでなく、多くのボランティアが動員されていますし、多くの市民もひとびとに門戸を開放しています。近年、特に就学児を対象としたいくつかの施策により、「みんなのため」のこの二日間はますます充実したものになっています。例えば2019年に始まった「目をひらけ」作戦。これは毎年文化遺産の日の前日に開催され、自分たちが住む地域にも、目の届く範囲に、信じられないほど多様な文化遺産があることを子どもたちに気づかせることを目的としています。そのプログラムには、発見コース、文化遺産の職人や専門家との集まり、実践的なアトリエ(例えば、考古学の発掘、修復作業、デッサンなど)さえもあります。

JEPは元々フランスのアイデアでした。当時の文化大臣ジャック・ラングが1984年に「歴史的モニュメント一般公開の日」を定め、これが直ちに大成功を収めました。このアイデアはヨーロッパで好評を博し、いくつかの国で、似

1) フランスの学年度は9月初めに始まる



アヴィニョン ポメール公衆浴場

たようなイベントデーが開催されることがすぐに決まったのです。1999年には、EUがこの文化行事に賛同を示し、2000年には「ヨーロッパ文化遺産の日」と改名されました。今日では、欧州文化協定の締結国50カ国でJEPが開催されているのです！

フランスではJEPに公開される場所は、次の四つの大きなカテゴリーに分類されます。

- すでに一般公開されている歴史スポットや文化施設。最も有名なものでは、ヴェルサイユ宮殿があります。JEPの際には、見学者はしばしば、通常一般公開されていない部屋、憲法改正の投票の際に国民議会と元老院が召集される、絢爛たる会議の間のような部屋を幸運にも訪れることができます。
- 権力の場合。開始当初からのJEPの特色のひとつは、権力を市民に近づけるため、民主主義的な生活が実現される場を一般のひとびとに近づきやすくする意志です。これらの場所は往々にして壮麗で歴史がたくさん詰まっています。最も重んじられているもののひとつが、共和国大統領官邸のエリゼ宮です。入館の受付をすませ、セキュリティチェックを受けると、場合によっては何時間も列に待たされてようやく、見学者は応接室や庭園、大統領の執務室を見て歩くことができます。とても運がよければ、まれに大統領と自撮り写真



ノワジエル ムニエのチョコレート工場

を撮ることさえできるのです！他にも国民議会、元老院、フランス銀行、各省庁、裁判所、市役所などを見学することができます。

- 地方の文化遺産に属する場所。このカテゴリーには、有名な建築物だけでなく、ひとびとが注意を払わずに毎日目にしている建物も含まれます。旧駅舎、学校、小さな礼拝堂、水車、個人所有の綺麗な邸宅などです。例えば、アヴィニョンの住民は近年ポメール公衆浴場を再発見することができました。これはアール・デコ様式建築の公衆浴場の施設で、十九世紀末からアヴィニョンの社交界の舞台となり、1970年代に閉鎖されて以来、時が止まったままの場所でした。
- 分類できない場所、もしくは奇抜な場所。こ

こには、スポーツのスタジアム、操業中の企業、かつての産業スポットなどが含まれます。次のようないくつかの例があります。パリにある国営グループのフランステレビジョンの建物。見学者はスタジオや副調整室を見学することができ、彼らに会いに来た出演者たちとことばを交わすこともできます。パリ近郊の小さな町ノワジエルのムニエの旧チョコレート工場。これは十九世紀末の産業建築の至宝であり、フランスがユネスコの世界遺産に推薦しています。アルザス地方モルスハイムにあるブガッティの工場。有名なブガッティロワイヤルが1926年から1933年までこの工場で作られ、今日でもブガッティのスーパーカーが製造されています。「世界最古のバスケットボールコート」はパリのYMCA フランス支部の建物内に1893年に作られ、以来オリジナルの状態のまま残されています。

フランスでは、年々確実に高まっているJEPブームはフランス人の文化遺産への愛着の印です。しかし「文化遺産 patrimoine」とは正確にはいったいどういう意味なのでしょう。もともこのことばは家族から受け継いだ財産の全体を指していました。コミュニティのレベルでは、過去の遺産もしくは今にちの世界の生き証人である、そのコミュニティに属する文化的次元にある富全体を意味しています。文化遺産と呼ばれるものは、保護され、讀えられ、次の世代に委ねられるに値すると考えられるものすべてなのです。文化遺産の概念は、まずモニュメントやオブジェの保存に限定されていましたが、非常に進化しました。現在では、無形文化財（伝統、ノウハウ、地域言語など）そして環

境や生物多様性にまで広がっています。この概念は都市のレベルにも、国のレベルにも、ユネスコの人類共通の世界文化遺産がそのことを証明しているように、人類全体にさえ適用することができるのです。

JEP以外にも、文化遺産に対するフランス人の情熱の指標となるものが数多くあります。いくつかの例をあげてみましょう。もっとも人気のあるテレビ番組に、「根と翼²⁾」や「フランス人が選ぶお気に入りの村³⁾」のような歴史や文化遺産を扱った番組が数多くあります。74%のフランス人は毎年少なくとも一ヶ所は文化遺産スポットを訪れますし⁴⁾、34%のフランス人は文化遺産の保存に寄付をしたことがあり、その平均金額は260ユーロにのぼります⁵⁾。数千の団体が毎日文化遺産の保護のために行動しており、たとえばボランティアの文化遺産の修復現場がいくつもの団体によって組織されています。この数年では、危機に瀕したモニュメントを救うことを目的としたクラウドファンディングが増加し、成功を収めています。

フランス人とそのリーダーたちが文化遺産をこれほど重視するのは、グローバル化の大きな変遷すべき背景において、文化遺産が指標となるからでしょう。だからといって、文化遺産はなにか固定化したものでも郷愁的なものでもありません。反対に、文化遺産は過去の対立や和解、さまざまなアイデンティティの混淆、技術的革新や芸術の変容を物語るものなのです。今日では、文化遺産とはあらゆる差異を超えてひとびとを集わせるこのうえないツールとなり、フランス社会がフランス社会のままでありながらいかにして進化していくことができるのかを知る問いに部分的に答えるものなのです。

(日本語訳 経営学部 下村 武)

2) 1997年に開始されたフランス3のテレビ番組

3) 2012年に開始されたフランス2およびフランス3のテレビ番組

4) OpinionWayの2018年の調査

5) BVAの調査「フランス人と文化遺産」2019年

\\Let's have a look at Language Center in Toyohashi!\\



豊橋キャンパス 3号館 1階



ランゲージセンターは学生のみなさんの外国語学習をサポートする場所です。

語学学習は、日々その言語に触れ楽しみながらコツコツ勉強に取り組むことで力がついていきます。このランゲージセンターを大いに活用し、外国語を通して自分の興味・活動の幅を広げていきましょう。では、こういった事ができるか詳しく見ていきましょう！

☺ランゲージセンター



外国語に関する本や雑誌、検定試験の対策本、様々な言語の DVD など沢山の資料が揃えられたスペースです。貸出対応※もしているので、2冊まで2週間借りられます。

とてもゆったりとしたアットホームな空間です。資料閲覧や自習等、自由に利用してください。

※DVD や一部資料は除きます。

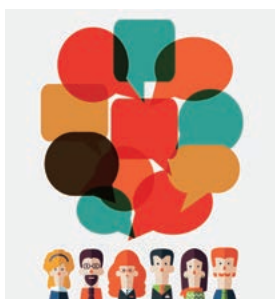
☺LL メディアルーム



センター内にある DVD 等を視聴できる部屋です。個人ブースになっているので自分のペースでゆっくりと観られます。

映画を観る事はリスニングスキルだけでなく、字幕を有効活用してリーディングスキルも上げられるのでオススメです。よく使われるフレーズや、聞き取れなかった単語はメモにとり、意味と発音の両方を覚えていくようにするとリスニングスキルが上がりますよ。

☺Language Cafe (English Cafe / Cafe Français / Global Cafe)



スピーキング力を伸ばしたい方、異文化交流に興味のある方！ランゲージセンターでは、ネイティブの先生や留学生と交流ができる Cafe を用意しています！

どなたでも参加できるので、活かしたコミュニケーション力をここで培いましょう。詳細はランゲージセンターまで。

※新型コロナウイルス感染症に係る愛知大学活動制限指針に基づき、利用を停止している場合があります。必ず、【愛知大学 語学教育研究室】のホームページにて開催日時等確認してください。

フランス オルレアン大学 語学研修オンラインプログラム実施報告

(2022 年 2 月 21 日から 3 月 4 日まで)

2020 年度はコロナ禍で中止になったフランスのオルレアン大学の語学研修は、2021 年度はオンラインプログラムという形での実施となりました。参加人数の都合上、富山大学と合同でおこなわれ愛知大学からは 3 名の学生が参加してくれました。参加した学生からは、「緊張して難しい部分もたくさんありましたが、わかる単語が出てくると嬉しかったです!」「わからない時には、はっきりわからないと言えば、やさしく教えてくれたのが印象的でした」「理解するまでに周りより時間がかかってしまい、講義について行くだけで精一杯でした」などの感想がありました。



オルレアン大学フランス語インスティテュートの Facebook ページから

今年度は実際にフランスのオルレアンに行って語学研修が受けられるといいですが、21 年度のようにオンラインプログラムでの実施になるかもしれません。多くの学生みなさんの参加をお待ちしています!

協定校の留学生と日本語で話ませんか?ーピアサポーター大募集!ー

2021 年度に続き、2022 年度春学期も「協定校向けオンライン語学研修(日本語)」が行われています。日本に來たいけど來ることができないアメリカ、ドイツ、フランス、中国、台灣、ベトナム、タイなどの学生が、オンラインで一生懸命日本語を勉強しています。

22 春はオンラインでしたが、22 秋からは留学生が入国できるかもしれません。留学生は愛知大学の学生と日本語で話したい、交流したい、と強く願っています。そこで、みなさん! 留学生と日本語で交流をしてみませんか。彼らは日本語の勉強をしているので、みなさんが外国語を話す必要はありません。海外の大学生がどんな生活をし、何に興味を持っているのか。「こんなに違うんだ!」という発見と、「日本の大学生と全く同じだ!」ということが分かると思いますよ。

国際交流課では、留学生との交流に関する様々な活動を準備しています。活動内容、曜日、時限、回数など、詳しくは各キャンパスの国際交流課(名古屋キャンパス厚生棟 5 階・豊橋キャンパス本館 1 階)にお問い合わせください。

ご応募をお待ちしています!



2021年度 第27回 名古屋校舎 外国語コンテスト結果報告

2021年12月に名古屋校舎恒例の外国語コンテストが開催されました。第27回を迎えた今年は、部門ごとにオンラインや対面などで6部門を開催し、多くの学生たちが参加して力を発揮してくれました。結果は以下の通りです。(全て敬称略。学年はコンテスト当時のもの。)

英語

開催日時：2021年12月3日 Zoomにて

課題：自作プレゼンテーション

- | | | |
|----|---|--------|
| 1位 | 国コミュ学部2年 | 野本 桃花 |
| | <i>The option to adopt rescue animals</i> | |
| 2位 | 国コミュ学部3年 | 小瀬木 呂斗 |
| | <i>It's Okay to Be Vulnerable</i> | |
| 3位 | 経済学部4年 | 野口 稜斗 |
| | <i>Mackerel cans are an ally for making lunch</i> | |

ドイツ語

開催日時：2021年12月7日 L605教室

課題：朗読「Dornröschen (いばら姫)」

- | | | |
|----|----------|--------|
| 1位 | 法学部3年 | 日高 正裕 |
| 2位 | 国コミュ学部1年 | 鈴木 美緑 |
| 3位 | 国コミュ学部1年 | 平野 らいの |

フランス語

開催日時：2021年12月23日 L405教室

課題：詩・歌・劇のうち一つ選択

- | | | |
|----|----------|--------|
| 1位 | 国コミュ学部4年 | 加藤 なつみ |
| 2位 | 国コミュ学部2年 | 三浦 啓瑚 |
| 3位 | 経営学部2年 | 竹田 愛唯 |

タイ語

開催日時：2021年11月30日応募締切

課題：「ハム太郎の歌」暗唱動画投稿

- | | | |
|----|----------|--------|
| 1位 | 経営学部1年 | 林 健太 |
| 2位 | 現代中国学部1年 | 川口 チャコ |
| 3位 | 経営学部1年 | 川浦 祐司 |

中国語

開催日時：2021年12月16日 L405教室

●一年生部門課題：課題詩暗唱

- | | | |
|----|----------|-------|
| 1位 | 現代中国学部1年 | 米森 みゆ |
| 2位 | 現代中国学部1年 | 磯村 美葵 |
| 3位 | 現代中国学部1年 | 新貝 拓也 |

●二年生以上部門課題：課題文朗読または暗唱

- | | | |
|----|----------|-------|
| 1位 | 現代中国学部4年 | 長屋 敦大 |
| 2位 | 現代中国学部3年 | 三輪 桃子 |
| 3位 | 現代中国学部3年 | 松村 彩香 |



表彰式：会場に出席した受賞者のみなさん

語学教育研究室のHPでは各部門担当教員からの講評を掲載しています。

また、愛大の在学学生は、Zoomで配信した表彰式の動画をStreamから視聴できます。優勝者のパフォーマンスや教員の講評なども見られるので、ぜひアクセスしてみてください。

※愛大のIDでMicrosoft Streamにログイン→検索ボックスに「contest」と入力して動画を検索してください。

2022年度 外国語検定試験奨励金のご案内

言語	名古屋校舎		豊橋校舎	
	試験名称	基準	試験名称	基準
英語	実用英語技能検定（英検）	準1級以上	実用英語技能検定（英検）	2級以上
	TOEIC Listening & Reading Test ☆	650点以上	TOEIC	530点以上
	TOEIC Speaking & Writing Tests ☆	130点以上	TOEIC IP	① 750点以上 ② 前年比100点以上
	TOEFL iBT	50点以上	TOEFL iBT	50点以上
	IELTS	4以上		
	国際連合公用語英語検定(国連英検)	B級以上		
	ビジネス通訳検定（TOBIS）	3級以上		
	日商ビジネス英語検定	3級以上		
	通訳案内士（通訳ガイド）	合格		
ドイツ語	ドイツ語技能検定（独検）	4級以上	ドイツ語技能検定（独検）	4級以上
フランス語	実用フランス語技能検定（仏検）	4級以上	実用フランス語技能検定（仏検）	4級以上
	DELFS・DALF	A1以上	DELFS・DALF	A1以上
	TCF	100点以上	TCF	100点以上
中国語 ☆	中国語検定	4級以上	中国語検定	4級以上
	HSK	3級以上	HSK	3級以上
ロシア語	ロシア語能力検定	4級以上	ロシア語能力検定	4級以上
韓国・朝鮮語	ハングル能力検定	4級以上	ハングル能力検定	4級以上
	韓国語能力（TOPIK）	2級以上	韓国語能力（TOPIK）	2級以上
タイ語	実用タイ語検定	4級以上		
日本語	日本語能力（JLPT）	N1級	日本語能力（JLPT）	N1級
	BJTビジネス日本語能力テスト	460点以上	BJTビジネス日本語能力テスト	460点以上

☆名古屋校舎のTOEICは公開テストのみとなります。 ☆中国語は現代中国学部を除きます。

受付期間 名古屋校舎 2023年1月31日まで

豊橋校舎 2022年12月1日～2023年2月17日

詳細は所属校舎の語学教育研究室にて確認してください。

奨励対象者 学部学生・短大生（協定留学生・大学院生・科目等履修生は除きます）

〈編集後記〉

イギリスのトレビシッパースチーブンソンが蒸気機関車を発明してから200年あまりの月日がたちました。今号は「乗り物と旅行」というテーマでヨーロッパ、アジア、アメリカ各国の列車（汽車、路面電車、地下鉄、高速鉄道、リニアモーターカー）、車（長距離バス、自家用車）、フェリー、航空機など、様々な交通事情の記事をご提供いただきました。またイギリスの駅でのピアノ設置、タイの屋台、アメリカのファーストフードの利用など、旅を楽しむ様々な習慣をご紹介いただき、ありがとうございました。 Lingua19号編集委員会（藤森 猛、島田 了、高村めぐみ、下村 武）